

紀要執筆要項

本学紀要は和文名を「東海女子短期大学紀要」とし、その英文名は
The Journal of TOKAI Women's Junior Collegeとする。

●投稿資格

執筆者は原則として本学の専任教職員とし、第一著者が本学教職員の場合に限り、他大学執筆者との共同研究も認めることとする。

投稿本数は共著を含めて2本を限度とする。

定年退職またはこれに準ずる旧教職員が執筆者の場合には、紀要編集委員会が掲載の可否を決定する。

投稿論文の内容については執筆者が全ての責任を負うものとする。

●投稿原稿の締め切り

原稿の提出締め切りは10月31日5:00とし、もしその日が日曜・祭日に当たる場合には翌日を締め切りとする。

初校は原稿が返却されてから1週間以内、再校・三校は5日以内に提出することとする。

再校以後の大幅な変更は認めない。

●形式

執筆に当たっては本学所定の原稿用紙（横書き20*20、縦書き31*24）に加えて、市販原稿用紙（400字詰め）を用いてもよい。

原稿の分量は印刷された紀要にして一人約10ページとする。

原稿用紙を利用する際には横書き4枚が紀要1ページ分、また縦書きの場合には2枚を紀要1ページ分の分量の目安とする。

ワードプロセッサを利用する場合には、フォント次第で字数が変わるため、印刷時の行数や1行あたりの字数、ページ数は自由とする。代わりに、縦書きの場合には1500字(全角文字)、横書きの場合には1600字(全角文字)を紀要1ページ分の目安とする。また、英語論文の場合には680wordsを紀要1ページ分の目安とする。

ミスを防ぎ、校正をスムーズに進めるために原稿に加えて、ワープロ・フロッピー（MS-DOSテキスト形式の文書、および利用しているワープロ形式の文書の両方）を極力添えることとする。その際には使用機種・ワープロソフト名も記しておくこととする。

原則として氏名の後にはカッコ書きで自分の専門を記すこととする。

例：山田太郎（宗教学）

東海花子（栄養科学）

他大学執筆者は氏名右肩に*（アスタリスク）をつけて、所属大学名をそのページの下欄外に記すこととする。他大学執筆者が複数の場合にはアスタリスクの後に番号をつけて示すこととする。

例：山田太郎（宗教学）*

*所属：東海女子大学

本学教官の所属は論文の最後に記すこととする。

例：—英文学科 教育英語—

—家政学科 被服—

—児童教育学科 初等教育 心理学—

図・表は別紙とし、通し番号をつける。本文中、もしくはその欄外に図表の挿入箇所を明示することとする。その際、おおよそ原稿何行分になるかを指示すること。図表が多数で紙面構成が複雑な場合にはレイアウト案を添付することとする。

●その他

原稿の提出は所定の封筒を用いる。

原稿の提出用封筒にはタイトルを書き入れ、英文タイトルも併記することとする。

原稿の提出用封筒には欄外略題（Running Head； Header）を邦文25文字以内で、英文の場合にはスペースを含めて50文字以内で記入することとする。

紛失に備え、執筆者は図表・本文の控えを必ず保管しておくこととする。

編 集 委 員

委員 長	小野寺孝義
委 員	今井周秀
(50音順)	近藤政男
	高野盛光
	長谷部和子
	本間恵美
	校條善夫

東海女子短期大学 紀要 第21号

1995年3月31日発行

発行者	東海女子短期大学 〒504 岐阜県各務原市那加桐野町 TEL.058(382)1148 FAX.058(389)2205
印刷所	合同印刷株式会社 名古屋市中区栄1丁目12番35号 TEL.052(221)7371
